

2025年1月27日

全日本アーチェリー連盟における日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー 養成講習受講希望者の連盟推薦者決定方法について

[応募方法]

1. 応募方法は全日本アーチェリー連盟ホームページ文書交換システムより公募する。
2. 受講希望者は、アスレチックトレーナー推薦個人調書を提出する。
3. 各都道府県事務局は受講希望者からの『アスレチックトレーナー推薦個人調書』を受け取り、アスレチックトレーナー推薦文書を記載する。
4. 各都道府県事務局は『アスレチックトレーナー推薦個人調書』と『アスレチックトレーナー推薦文書』を文書交換システムにより全日本アーチェリー連盟事務局へ提出をする。

[推薦基準]

1. 全日本アーチェリー連盟の推薦・各都道府県アーチェリー連盟・協会の推薦に限る。
2. 全日本アーチェリー連盟・各都道府県アーチェリー協会からの推薦は毎年1名とする。
3. 応募締め切り後、応募した候補者の中から履歴書・保有資格・活動内容等・アーチェリー競技への貢献度を基準に決定する。全日本アーチェリー連盟の基準を満たす者がいない場合は、その年度のアスレチックトレーナー養成講習会への推薦は行わない。選考の基準については開示しない。
4. 推薦者は、推薦の際の履歴の記載に不備がないことを含め、推薦後から、養成講習会受講期間、受験、資格取得後の全日本アーチェリー連盟の貢献において、監督指導の責を持つこと。
5. 他団体から同年の同時推薦者は対象外とする。

[推薦・推薦順位]

1. 応募は全日本アーチェリー連盟ホームページ文書交換システムにて公募形式で掲載される。ホームページ文書交換システムに添付している申込書を記入すること。連盟トレーナー・全日本アーチェリー連盟・各都道府県アーチェリー協会の推薦書を添え、申込書や履歴書の記載に不備がないことを各推薦者が責任を持って確認し提出すること。
2. 推薦締切日時点で、アスレチックトレーナー受講希望者選考基準(*)とアーチェリー競技への貢献度を加味して選考する。

*アスレチックトレーナー受講希望者選考基準

- ①トレーナーとしての活動実績
- ②トレーナーに関する研修会・セミナー等の参加実績
- ③受講推薦者の保有資格
- ④推薦団体との関わり(団体内でのトレーナーとしての活動実績)

⑤推薦団体における活用実績

3. 上記で同位者がいる場合には、履歴に、アーチェリーにおけるトレーナー実績（上記1の大会外）の多い者を優先する。
4. 上記でさらに同位者がいる場合には、履歴に、トレーナー関連の有資格保持や他競技におけるトレーナー実績の多い者を優先する。

[アスレチックトレーナー取得後の役割]

1. 下記の事項を誓約（職場の承認含む）の上、活動を実施すること。途中転職の際も、職場の承認を継続して取り付けること。
2. 養成講習会受講開始後、速やかにⅠ～Ⅴ期講習会を2年間で受講し、受講終了後は、間を空けずに受験する。
3. アスレチックトレーナー養成講習会にかかる全ての費用（受講費用・テキスト代・交通費・宿泊費等）など受講者本人が負担する。
4. 資格取得後は、全日本アーチェリー連盟から派遣依頼の大会（国内大会・世界大会）とその強化合宿、アスレチックトレーナー連絡協議会会議担当トレーナーとして参加する（日当・交通費支給有）。全日本アーチェリー連盟トレーナー部員と協力し、アーチェリー競技向上のために連盟事業に協力する。
5. 全日本アーチェリー連盟強化部の科学委員会の専門委員になり、アーチェリー競技発展のためにサポートする。
6. 全日本アーチェリー連盟からトレーナー派遣依頼があった場合、連盟トレーナーは本人ができる範囲内で帯同する（職場との調整含む）。具体的には、国内大会・国際大会とその強化合宿、アスレチックトレーナー連絡協議会会議である。
 - ※ 国内大会は全日本アーチェリー連盟が主催する大会である。例えば、全日本ターゲットアーチェリー選手権大会、ナショナルチーム選考会、全国小中学生大会等である。
 - ※ 国際大会とその強化合宿とはオリンピック、世界選手権大会、ワールドカップ、アジア競技大会、アジア選手権大会、アジアカップ、世界ユース選手権大会等、海外で実施される大会である。
 - ※ アスレチックトレーナー連絡協議会会議は年に1回開催される（交通費・宿泊費等は支給）。